



30分間

校長 小川 和宏

5月のある朝、約30分間の出来事です。

低学年の子がある事情で登校時に泣いて立ち止まってしまいました。その子に対し、様々な人が様々に助けてくれたのです。

その1 通りがかった高校生が立ち止まり、その子に声をかけてなぐさめ、励ましてくれました。その子とは初めて出会ったのにです。

その2 そこに通りがかった当校の保護者が高校生に感謝の声をかけ、交代してその子をなぐさめ、励ましてくれました。その子の保護者ではないのにです。

その3 そこに我が子を送って帰宅途中の別の保護者が通りがかり、交代して送ってくれることになりました。我が子に引き続き2回目の見送りになるのにです。

その4 そこに登校途中の高学年の子が通り、交代して送ってくれることになりました。高学年の子は低学年の子の手をずっと握って、登校していきました。その子をよく知っているわけではないのにです。

その5 そこに出勤途中の低学年の子の保護者が通りがかり、高学年の子にお礼を言って交代しました。その子の保護者はどうしてそうなっているのかよく分からなかったでしょうに、丁寧に丁寧に高学年の子にお礼を伝えていました。

その6 学校に着いて低学年の子が玄関に入ると、先ほどの高学年の子が教室まで手を引いて連れて行ってくれました。ごく自然に当然のようにそうしてくれました。

たった30分間、この通学路だけで、こんなにたくさんの素敵なことが起こっていたのです。

だとすると、この30分間だけでなく、4月からの3ヶ月半という何百倍もの長い時間の中で、このような素敵なことが何百回も起こっていたのではないかと思うのです。

だとすると、この通学路だけでなく、校内を含めた何百倍もの広い場所の中で、このような素敵なこと何百回も起こっていたのではないかと思うのです。

新津第一小学校の子どもたち、保護者、地域の方は、他の人をこんなにも大切にしてくれる人たちだという思いが、日々膨らみ続けています。

～運動会～

はじめてのうんどうかい

一年 鳴海 里彩

しょうがくせいになってから、はじめてのうんどうかいだったので、たのしみでした。いちばんたのしかったことは、おうえんがっせんです。れんしゅうもいっぱいしたし、おおきなこえをだしてがんばりました。

がんばってよかった

一年 有沢 泉

こえがかれるぐらいおうえんをがんばりました。むずかしいだい二おうえんかのだんすも、いっぱいれんしゅうして、できるようになりました。あかぐみはまけてしまったけど、がんばってよかったとおもいました。



がんばったこと

二年 伊藤 百音

わたしががんばったことは二つあります。一つ目は、五十メートルそうです。わたしははしるのがにがてだけど、本気でがんばりました。今年はいいだったけど、来年こそ一いをとりたいです。二つ目は、チェッコリ玉入れです。あまり入らなかったけどたのしかったです。来年こそゆうしようしたいと思っています。



今年の運動会

三年 三星 奈央

わたしが運動会でがんばったことは一少の風です。息を合わせて走ることがむずかしかったです。みんなの応援に力をもらい、本番はうまくできて、ほっとしました。今年はい軍がダブル優勝しました。わたしががんばれたのもみんなの応援のおかげです。来年はわたしが応援団になってみんなの力になりたいです。



初めての応援団

四年 加藤 幹太

初めての応援団ですごく
きんちようしていたけれど、
練習していた仲間が支えて
くれて、最後まで全力ででき
ました。

結果は、準優勝で悲しかっ
たけれど、全力でやって、あ
こがれのそんざいになれた
と思います。

来年も応援団になって、今
度は、ダブル優勝をとりたい
です。



初めての応援団！

五年 宮崎 康輔

僕は、今年初めて応援団
に入りました。応援団に入
ると、テキパキとした行動
が求められ最初は難しいな
と思っていました。でも、
徐々に楽しくなり、当日は
緊張したけれど、うまく振
り付けができて良かったで
す。笛を吹くのが遅れて、自
分のせいで負けたと思い泣
きました。六年生になった
ら応援団長としてリベンジ
したいです。



100%の力で

六年 金子 奈央

私は、今回初めて応援団
になって、協力して楽しい
運動会を作ることができま
した。結果はくやしいもの
だったけれど、団長が話し
ていたように、一つの目標
に向かって努力して、
100%の力を出すことがで
きたので、とても誇らしい
です。

私たちが卒業しても、一
小の運動会を100%の力で
盛り上げてほしいと思いま
す。



～自然教室～



協力の大切さ

五年 中野 美音

私が、自然教室で学んだことは協力の大切さです。野外すいさんでカレーうどんを作っているときに上手くできるか不安でした。みんなと協力したので上手にできました。その後も、持ち物や時間を友達と協力して確認しながらキャンプファイヤーやカヌーなどの活動に取り組むことができました。二日間で協力する大切さを感じることができたので、これからの学校生活でも協力してみんなで成長したり、楽しんだりしていきたいです。

～修学旅行～



仲間との絆が深まった修学旅行

六年 菊池 唯翔

六月二十六日から一泊二日で佐渡修学旅行に行きました。一番心に残ったのは、伝統芸能の鬼太鼓を見たことと世界遺産の佐渡金山に行ったことです。間近で見る鬼太鼓は大迫力でした。提灯を持つ貴重な体験もできました。金山では、掘っている様子を実際に見ることができ、昔の人の努力で今の佐渡があると感じました。この修学旅行で佐渡の自然や文化に触れ合う中で、友達との絆が深まり、協力する大切さを学びました。とても思い出に残る充実した修学旅行でした。

